

マダラ陸奥湾産卵群資源回復計画の実施状況

○漁獲状況

陸奥湾内のマダラは、平成2年頃までは約2千トン台の漁獲を誇ったが近年では20トン台にまで急激に減少。しかし、平成21年は186トン、平成22年は201トン、平成23年は78トン^を漁獲。

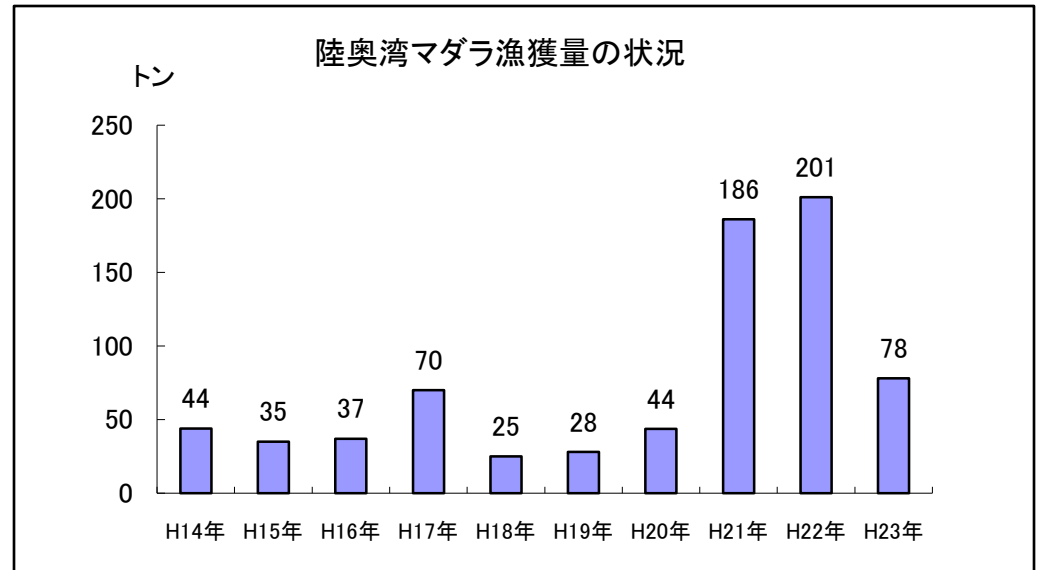
(単位:トン)

年次	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年
漁獲量	44	35	37	70	25	28	44	186	201	78

※青森県調べ

※本計画の目標値(42トン:H14~18年の平均漁獲量)

※H23年は1月~4月までの概算値



○実施中の取組

(1) 放卵・放精後の親魚及び小型魚の再放流 (小型定置網漁業、底建網漁業、沖合底びき網漁業)

標識、再放流作業



標識装着作業



ディスクタグ装着状況



標識装着後の蓄養



再放流作業

・放卵・放精後の親魚及び小型魚の再放流実績(脇野沢村漁協)

(単位:尾)

年次	H20年	H21年	H22年	H23年
再放流尾数	93	184	129	93
うち標識放流尾数	33	75	87	38

※脇野沢村漁協調べ

(2) 資源の積極的培養措置 (マダラの人工種苗放流)

平成23年度 マダラ栽培漁業技術開発事業

標識、種苗放流作業



中間育成生簀での標識作業



標識稚魚の放流

○放流方法と標識放流魚 (脇野沢放流群)

放流月日：2010/6/24 表層水温：16.6℃

放流場所：むつ市脇野沢の中間育成生簀から直接放流。一部は同施設の地先海面から放流。

放流尾数：10,000尾

放流サイズ：平均全長 44mm

標 識：10,000尾のうち左腹鰭切除 6,900尾

資料：青森県産業技術センター水産総合研究所

(単位：千尾)

年次	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年
種苗放流尾数	95	6	107	76	76	33	15	25	52	10
うち標識放流尾数	67	-	58	20	10	31	14	25	52	7

※H18年以前は(独)水産総合研究センター、(社)全国豊かな海づくり推進協会調べ

※H19年以降は青森県調べ